

おおさか東線沿線マップ

都市計画都市高速鉄道事業

大阪外環状線連続立体交差事業(大阪市)



これらの都市計画事業には、国土交通省所管の国庫補助事業としてガソリン税・自動車重量税などの道路目的財源が充当されます。



大阪府庁 大塚ビル 4F 都市計画部
平成20年3月発行(第4刷)

大阪 市

大阪外環状鉄道(株)

連続立体交差事業について

大阪市東南部に位置する平野区加美地域を南北に縦断するJR城東貨物線は、東大阪市域から加美地域にかけて道路と平面交差をしており、地域分断と交通遮断の一因となっています。

この度、JR城東貨物線の旅客複線化事業が大阪外環状鉄道整備事業として実施されることとなり、大阪市においては大阪外環状鉄道(株)と連携し、現在、地平を走っている貨物線を、都市計画事業として道路と連続的に立体交差化することとなりました。

本事業は鉄道を高架化し、あわせて高架沿いの一部区間に関連側道を整備するもので、7箇所の平面交差の立体化を行い、都市交通の円滑化や市街地の一体化を図り、都市の健全な発展を促進するものです。

また、大阪外環状線の電化・複線化による旅客輸送の開始により、大阪東部を經由する広域鉄道ネットワークの形成で交通機能向上が促され、市民の利便性向上や都市部の混雑緩和等、都市機能の活性化が図られます。

大阪外環状線連続立体交差事業は、沿線地域の市街地形成および交通機能の向上に寄与する事業として期待されています。

事業の概要

- 事業名称 大阪外環状線連続立体交差事業
- 事業区間 大阪市平野区加美北5丁目～加美東4丁目
加美北5丁目～平野宮町1丁目
- 事業延長 約2.4km
大阪外環状線：約1.3km(東大阪市域界～新加美駅)
大阪外環状線連絡線：約1.1km(貨物線分岐～関西本線取付)
- 除却踏切数 7箇所
- 交差道路 都市計画道路 5箇所
その他交差道路 18箇所(内新設15箇所)
- 総事業費 約170億円
- 関連側道

路線名	延長(m)	幅員(m)
大阪外環状線連絡線付属街路1号線	約520	6
大阪外環状線連絡線付属街路2号線	約940	6
大阪外環状線連絡線付属街路3号線	約260	6

事業経過

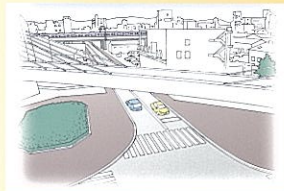
- 昭和58年 4月 ● 連続立体交差事業採択
平成 8年11月 ● 大阪外環状鉄道株式会社設立
平成11年 3月 ● 「大阪都市計画都市高速鉄道」都市計画決定
平成12年 3月 ● 都市計画事業認可
平成20年 3月 ● 高架切替、JRおおさか東線(放出～久宝寺間)営業開始

事業の効果(イメージ図)

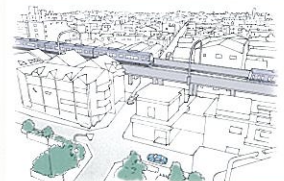
現況



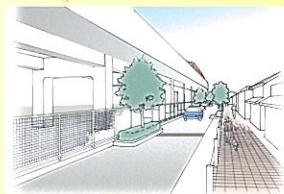
事業後(イメージ)



●踏切が除却されるため、踏切事故がなくなり、人や車の流れがスムーズになります。



●まちの分断が解消され、市街地の一体化が図られます。



●関連側道の整備により、地域の生活環境及び利便性が向上します。